＜振り返りを通して必要と考えられること＞

・本人や家族、周囲の人の認知症の理解をすすめ早期に介入していくことで支援拒否を減らし必要な支援につなぐこと。

・周囲の関係者が本人の状況変化をキャッチして相談機関につなぐことができる周囲の見守り体制づくり。

・介護サービス利用の必要性の有無にかかわらず、認知症の人が参加・活動できる場づくりや生活の場でちょっとした声かけやサポートを受けることができる環境。